

振興会 だより

令和8年6月25日発行
編集・発行 地区振興会
羽田地区センター

地区要望10項目を提出

羽田地区振興会は、令和8年度地区要望10項目を、6月15日(月)に、奥州市協働まちづくり部地域づくり推進課にメールで提出しました。

地区要望10項目は左記のとおり
①水沢江刺駅周辺エリアの開発に係る事業の早期の取り組み

②羽田地区センター駐車場の舗装
③使用されなくなった元及貞製造所工場等施設の撤去

④観光資源の活用による羽田町の活性化対策
⑤窪田排水路と芦ヶ沢水路の合流地点の土砂撤去

⑥小田代川川底の土砂撤去
⑦下川端明正線排水路内の草木伐採

⑧羽田町上新田のゴミ屋敷のゴミ撤去
⑨高齢化に伴う一斉清掃に係る側溝

清掃(泥上げ)の未実施

⑩国道397号下を通る芦ヶ沢水路の改修工事
以下、地区要望について、若干のコメントを付します。

①市未来羅針盤
②水沢江刺駅周辺エリアプロジェクトに

関しては、未来羅針盤課が6月25日(木)の執行委員会で説明することです。詳細は、「振興会だより」7月号でお知らせします。

③昨年度、駐車場の低い箇所に砂利を敷いていたいただきましたが、依然未舗装です。要望します。

④元及貞製造所の家屋は、4～5月に所有者により撤去済みです。昨年度の地区要望の成果です。

⑤①にリンクさせて要望します。
⑥、⑦、⑧

羽田地区の地形、高齢化に起因する内容となっております。

⑧森行政区にあるゴミ屋敷のゴミ撤去です。

⑩改修の原因が違法行為なので、行為者に復旧を求める要望です。なお、地区要望に係る意見交換会は、8月5日(水)に開催予定です。

地区運動会 9月13日(日)Zアリーナで開催 敬老会 昨年同様地区全体としては開催せず

羽田体育会(佐藤良和会長)は、4月24日(金)の総会で、今年度の地区民運動会を、9月13日(日)に奥州市総合体育館(Zアリーナ)で開催することを決定しております。

気候変動に伴う地球規模の温暖化は、毎年、日本列島に猛暑を引き起こしています。夏の屋外での運動会は、健康面からは、ほぼ限界に近いものがあります。冷房の効いた室内での開催を決定した所以です。

なお、競技種目、時間等は、これから検討することです。

奥州市社会福祉協議会水沢地域福祉推進協議会羽田支部(佐藤弘美支部長)は、4月24日(金)の総会で、今年度も、羽田地区敬老会は開催しないことを決定しております。

これは、資金面で、どうしても開催には無理があることが判明したからです。事情は昨年度と同様です。月例の自治協議会、区長協議会の席上で、自治会長さん方、区長さん方には、既に連絡しております。

従いまして、敬老会は行政区ごとに考えていただくこととなります。

水沢工業高校・電気科生徒4名

テクノボランティア

6月15日(月)9時30分～11時、水沢工業高校・電気科の生徒4名に、「テクノボランティア」として、地区センターのエアコン、換気扇の点検、清掃等をしていただきました。

「テクノボランティア」とは、地域福祉活動の拠点となる集会所や地区センター等を訪問し、照明器具などの安全確認や清掃等を行い、授業で学んだ知識と技術を地域社会に役立てるボランティア活動です。



5月29日からの防災気象情報 (太字が情報発表時の名称)

警戒レベル相当情報		河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
レベル値	色				
5相当	黒	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮特別警報
【警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！】					
4相当	紫	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル5 高潮危険警報
3相当	赤	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2相当	黄	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1相当	白	早期注意情報			

防災気象情報名と危険度レベル 大雨に備えて確認いま一度

気象庁は、5月29日付で河川氾濫や土砂災害などに関係した「新たな防災気象情報」の運用を開始しました。各情報の該当する警戒レベルがすぐ分かるよう、名称の冒頭にレベルの数値を付け、名称の統一化も図るなどシンプルな形で情報を提供し住民が直感的に危険度や取るべき行動を判断できるようにしました。

上の図から、ポイントを示します。
①4つの区分がありますが、羽田地区の場合、▽河川氾濫▽大雨▽土砂災害の3つが該当します。

②防災気象情報とレベルに応じた取るべき行動(※数字はレベル)

1・早期注意情報

☞ 気象情報の確認

2・注意報 ☞ 避難行動を確認

3・警報 ☞ 高齢者などは避難

4・危険警報 ☞ 危険な場所から全員避難

5・特別警報 ☞ 直ちに安全確保

専門家は、「同じ市町村でも、住む地域の災害リスクや家族構成などで取るべき対応が異なる」「一人一人が自分の状況に引き付け、行動を事前に想定しておくべきだ」と指摘し、避難行動を事前に想定しておくことの重要性を説いています。

「津波でんでんこ」の意味は？

「津波でんでんこ」とは、津波発生時に各自が自分の命を守るために素早く行動することを促す防災の教えです。各自が迅速に避難すること、を最優先とし、結果的に周囲の命も守る行動理念です。上の段の専門家の警鐘、「一人一人が自分の状況に引き付け」に通じる内容です。もちろん、河川氾濫、大雨、土砂災害にも、当てはまる内容となります。

災害は忘れた頃にやってくる

この言葉は、科学者で随筆家の寺田寅彦による言葉です。自然災害はその被害を忘れたときに再び起こるものだという戒めの言葉です。羽田地区は、1947年にカスリン台風、翌48年にアイオン台風により大洪水が2年連続で起こっています。左は、久保公園にある、カスリン台風の概要を記す掲示板と、水位が1m90cmに達したことを示しています。

